

補助事業番号 22-104

補助事業名 循環型社会における 3R に関する調査研究等補助事業

補助事業者名 財団法人 クリーン・ジャパン・センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

産業廃棄物問題、資源環境の急激な変化、温室効果ガス排出削減問題等の対応策として、産業廃棄物や使用済み機械製品等の 3R を推進するため、3R に関する技術及び社会システムの調査研究並びに国内外における最新の 3R 技術や関連法制度・施策等に関する最新情報の収集提供を行う等 3R の推進を図り、もって機械工業の振興に寄与する。

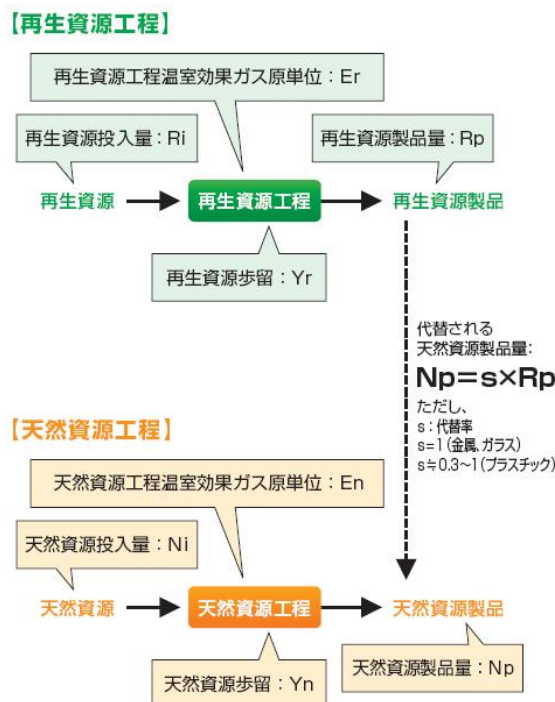
(2) 実施内容

① 循環型社会における 3R に関する調査研究

ア. リサイクルによる低炭素化社会形成の促進に関する調査研究

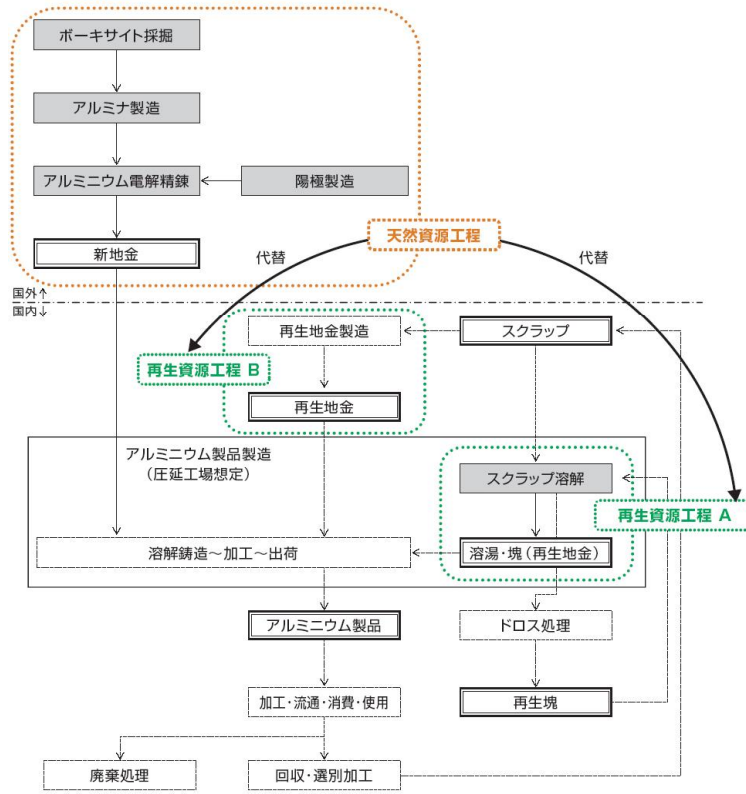
(<http://www.cjc.or.jp/keirin/h22/h2201.pdf>)

代表的な基礎素材（アルミニウム、銅、鉄鋼、ガラスびん、セメント、紙）を対象として、各品目のリサイクルによる温室効果ガス削減効果に関し、LCA 手法に則り、LCI データ・評価モデルの調査、温室効果ガス削減効果の評価手法の検討、温室効果ガス削減効果の算出、効果的な公表方法の検討を実施した。



再生資源製品による天然資源製品の代替の概念

凡例

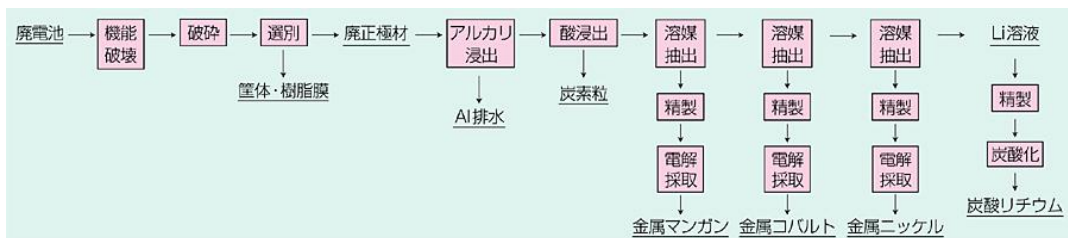


アルミニウムのライフサイクルフロー（モデル）

イ. モータ、二次電池等に関するレアメタルの3Rの推進に関する調査

(<http://www.cjc.or.jp/keirin/h22/h2202.pdf>)

今後、大量のレアメタルの使用が見込まれている次世代自動車に使用される希土類磁石、リチウムイオン電池等の二次電池の製品動向、及びレアメタル（希土類、マンガン、ニッケル、コバルト、リチウム）のリサイクル技術を中心に調査を実施した。

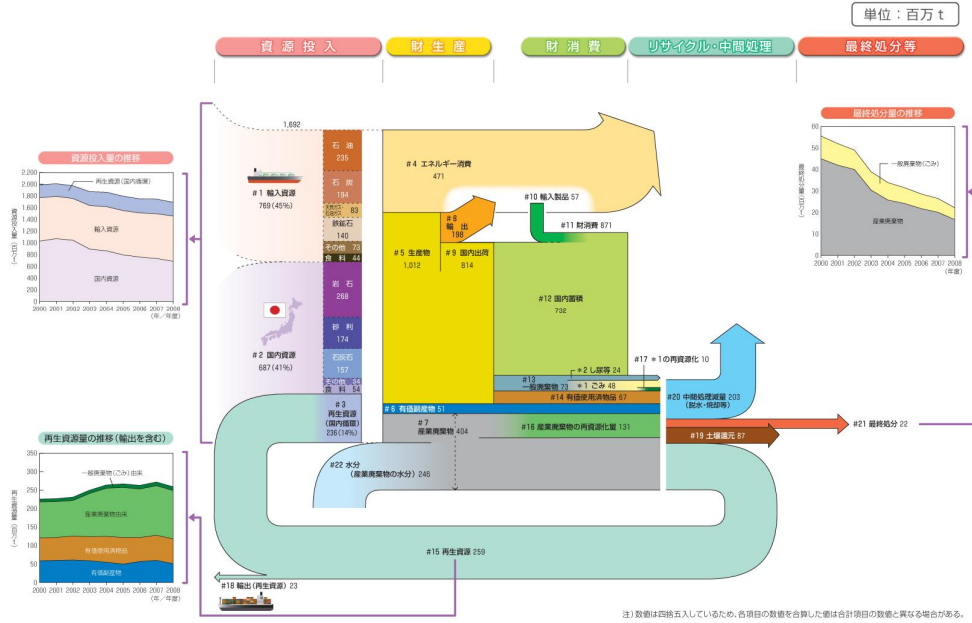


リチウムイオン二次電池のリサイクルプロセス

②循環型社会における 3R に関する情報収集提供

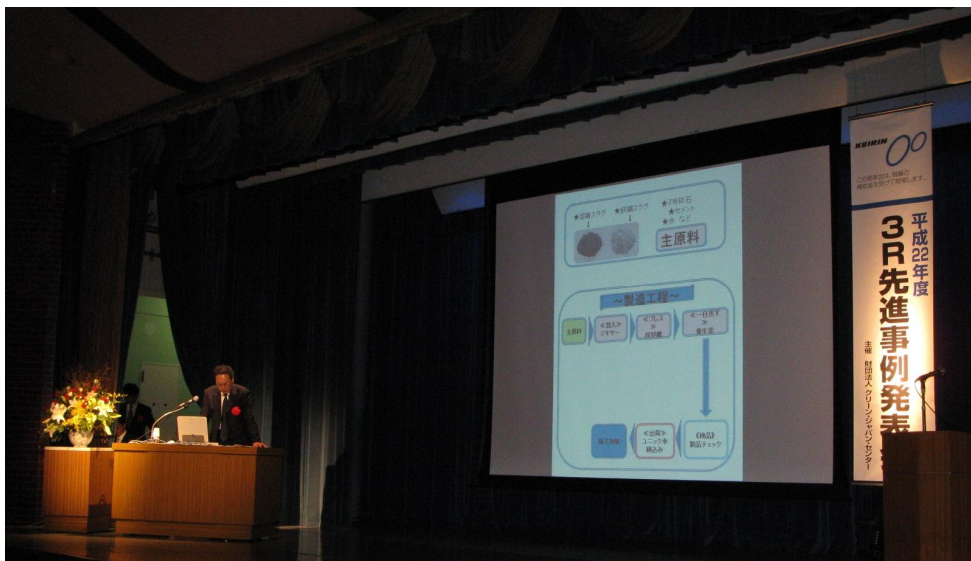
(<http://www.cjc.or.jp/keirin/h22/h2203.pdf>)

- ・ 3R 専門情報を収集し、体系的に整理してデータベースを構築した。
- ・ 3R データブック（リサイクルデータブック 2011）を作成し、関係機関に配付するとともにホームページで一般公開した。



日本のマテリアルバランス 2008

- ・ 3R に関する先進事例等を解説した展示パネルを作成し、「3R 先進事例発表会」で展示するとともに、関係者の希望に応じて貸し出しを行なった。
- ・ 3R 推進月間である 10 月に「3R 先進事例発表会」を東京都で開催した。



平成 22 年度 3R 先進事例発表会

2 予想される事業実施効果

リサイクルによる低炭素化社会形成の促進に関する調査研究により、産業廃棄物問題と温室効果ガス排出削減問題の同時解決、即ち、循環型社会と低炭素社会の統合に寄与する調査研究を実施した。また、モータ、二次電池等に関するレアメタルの3Rの推進に関する調査により、最近、急激に高まりつつあるレアメタル（レアアース）資源需給環境の変化に対応できる機械工業の構築に寄与する調査研究を実施した。また、循環型社会における3Rに関する情報収集を体系的に行い、視覚的に分かりやすいリサイクルデータブック 2011 を作成した。いずれの事業もリサイクルプラントの開発促進・需要喚起に資する効果が期待されるとともに、機械工業の循環型産業への転換と環境競争力向上に資するものと期待される。

3 本事業により作成した印刷物等

リサイクルによる低炭素化社会形成の促進に関する調査研究報告書

モータ、二次電池等に関するレアメタルの3Rの推進に関する調査研究報告書

3R 先進事例発表会講演論文集

リサイクルデータブック 2011

<http://www.cjc.or.jp/modules/incontent/book2011.pdf>

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人 クリーン・ジャパン・センター

住所： 105-0011

東京都港区芝公園三丁目5番8号 機械振興会館 B108

代表者名： 会長 宗岡 正二(ムネオカ ショウジ)

担当部署： 総務部 (ソウムブ)

担当者名： 総務部長 星 政志(ホシ マサシ)

電話番号： 03-6430-9721

FAX 番号： 03-3434-3533

E-mail： hoshi@cjc.or.jp

U R L： <http://www.cjc.or.jp/>